



まっ
参りましたっ

参ったっ



なんだ
だらしのない
それでも武士か

立てっまだ
稽古は終わって
おらぬぞっ

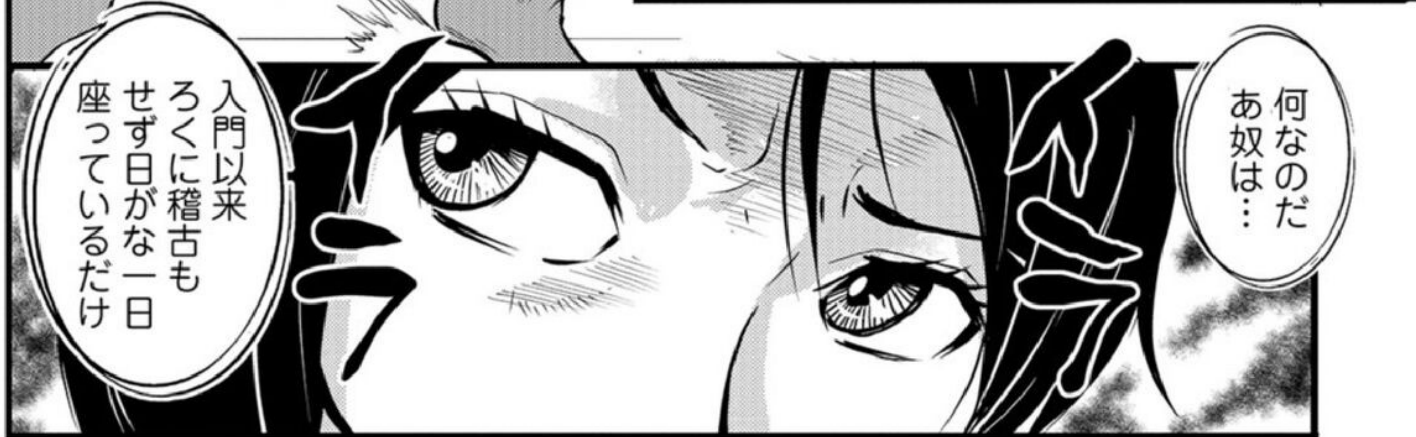
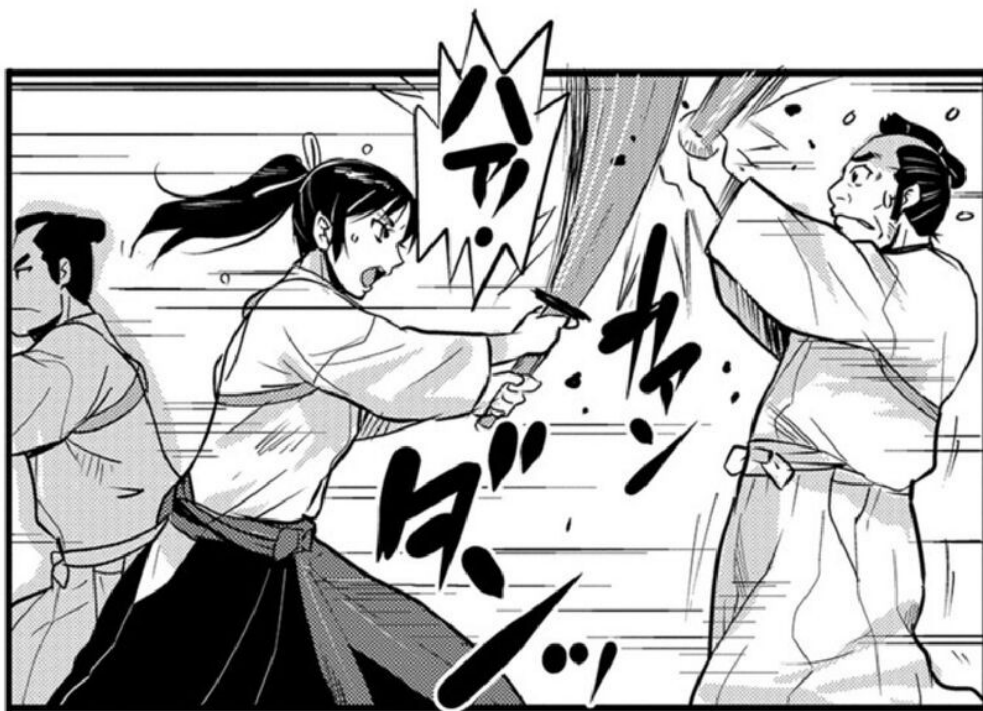
孕み侍06

女剣士と恋慕う夜

格闘王国



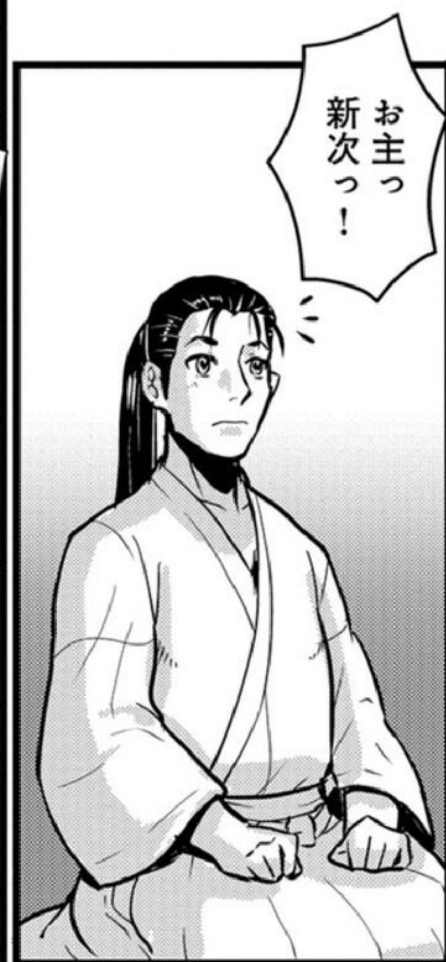






いったい
どういうつもりだ

立ち合いはおろか
打ち込みもせず
眺めているだけ



お主っ
新次っ！



強くなろうと
する気概が
微塵も感じ
られんっ

あ……いえ
サツキ様



私はご覧の通り
小柄な体躯……

皆さんと打ち
合っては怪我を
してしまいます

ですから
せめて
丹江流の
美しい技を
眼に

はは……は……





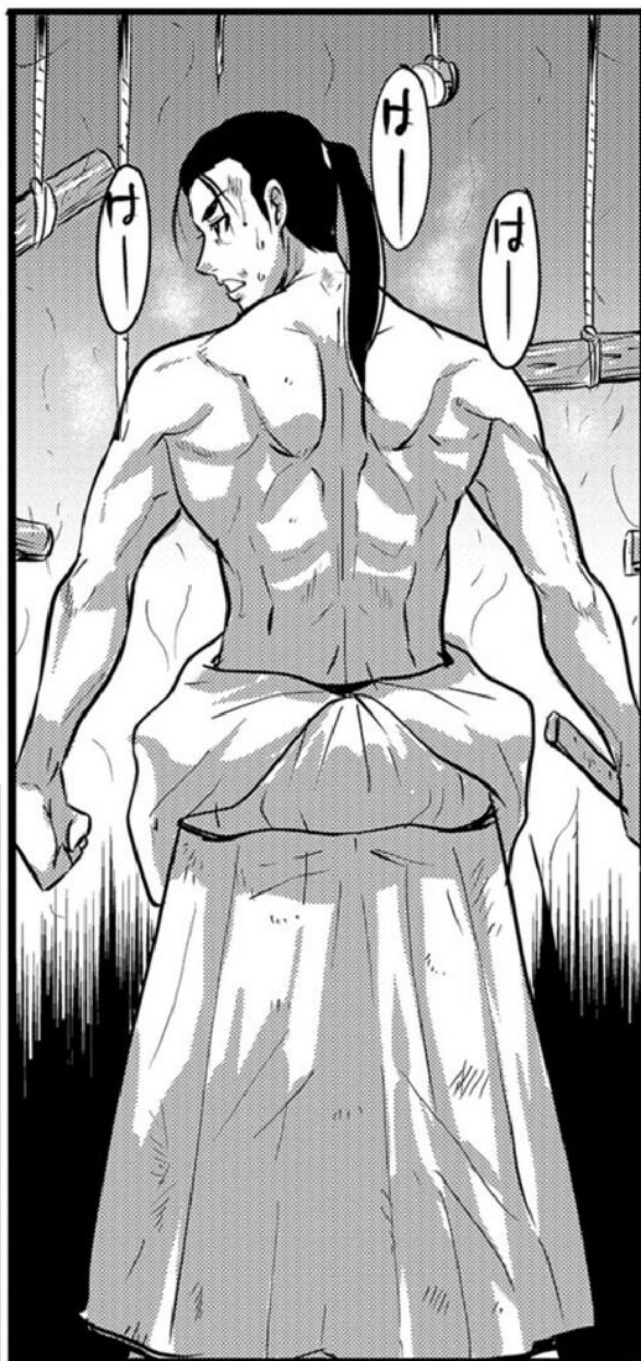
あれは…
 新次か!

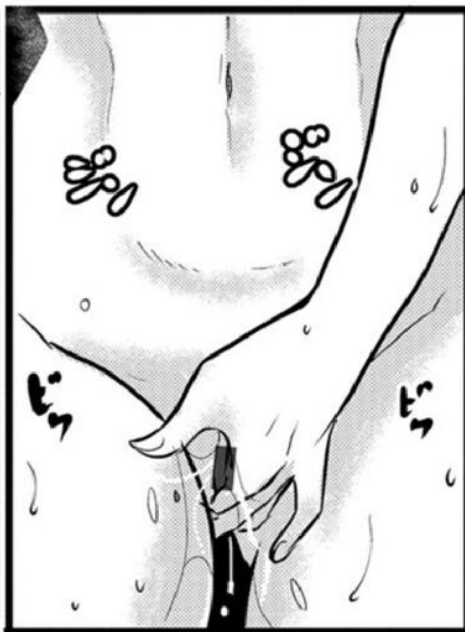


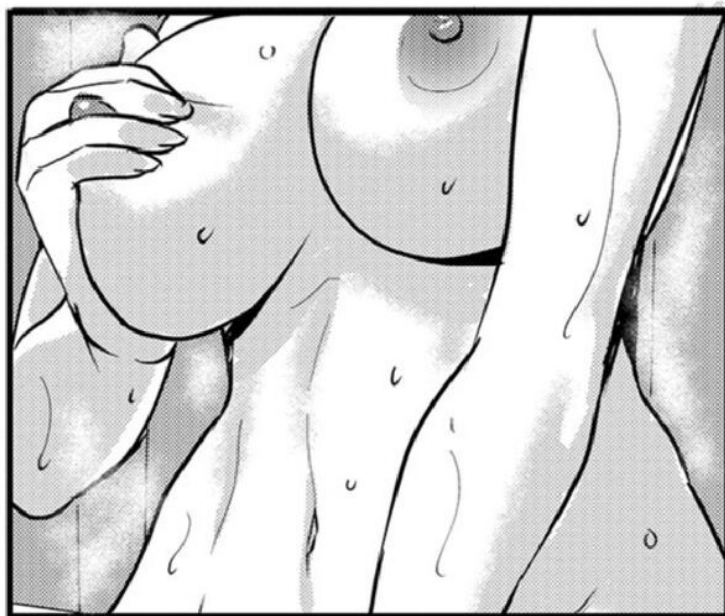
すごい…

あれは丹江の
 技…石塔

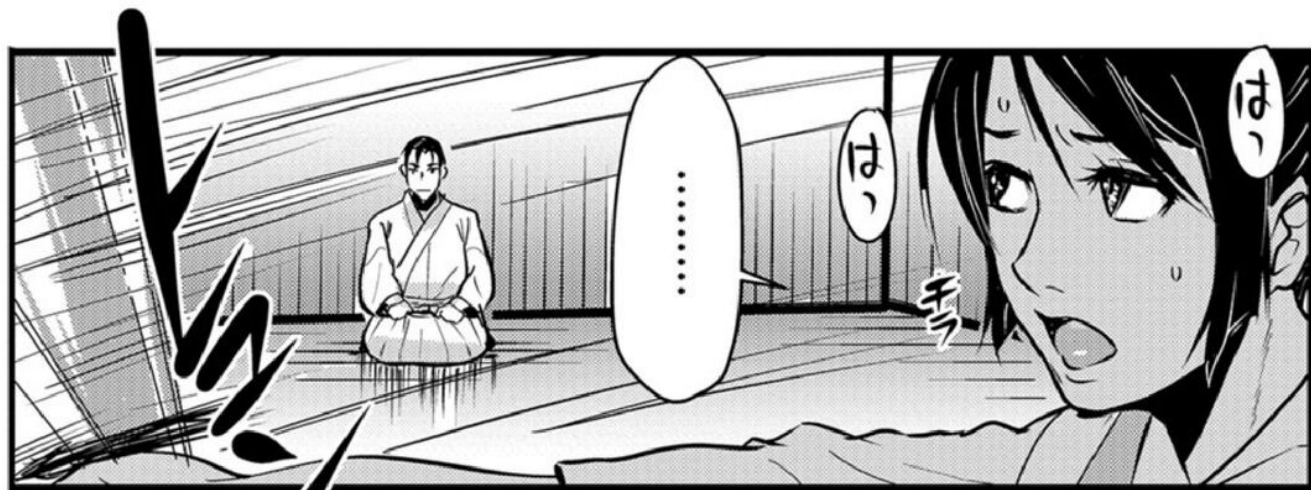
いや…似ているが
 より完成されて
 いる気がする

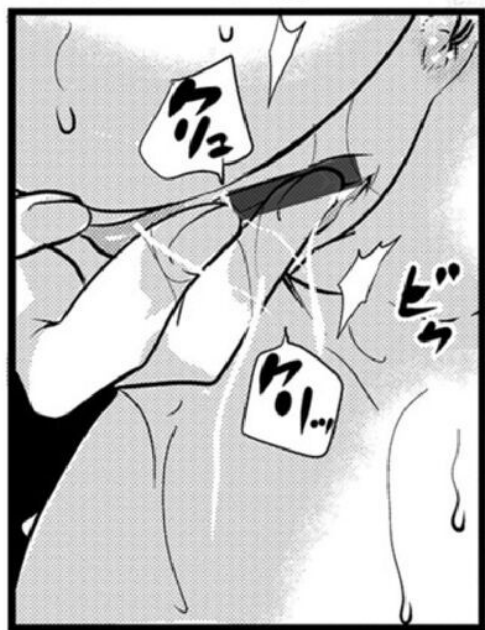














新次：
いや新さんっ
私と…私と
立ち会ってくれっ



お相手でしたら
序列筆頭の拙者が

頼む…



雑魚…



お前のような
雑魚では鍛錬に
なるかつ

ええい
うるさいっ

私のような
新参者が
サツキ様と

滅相もない…

私では相手に
ならぬと申すかつ

そ…そんな…

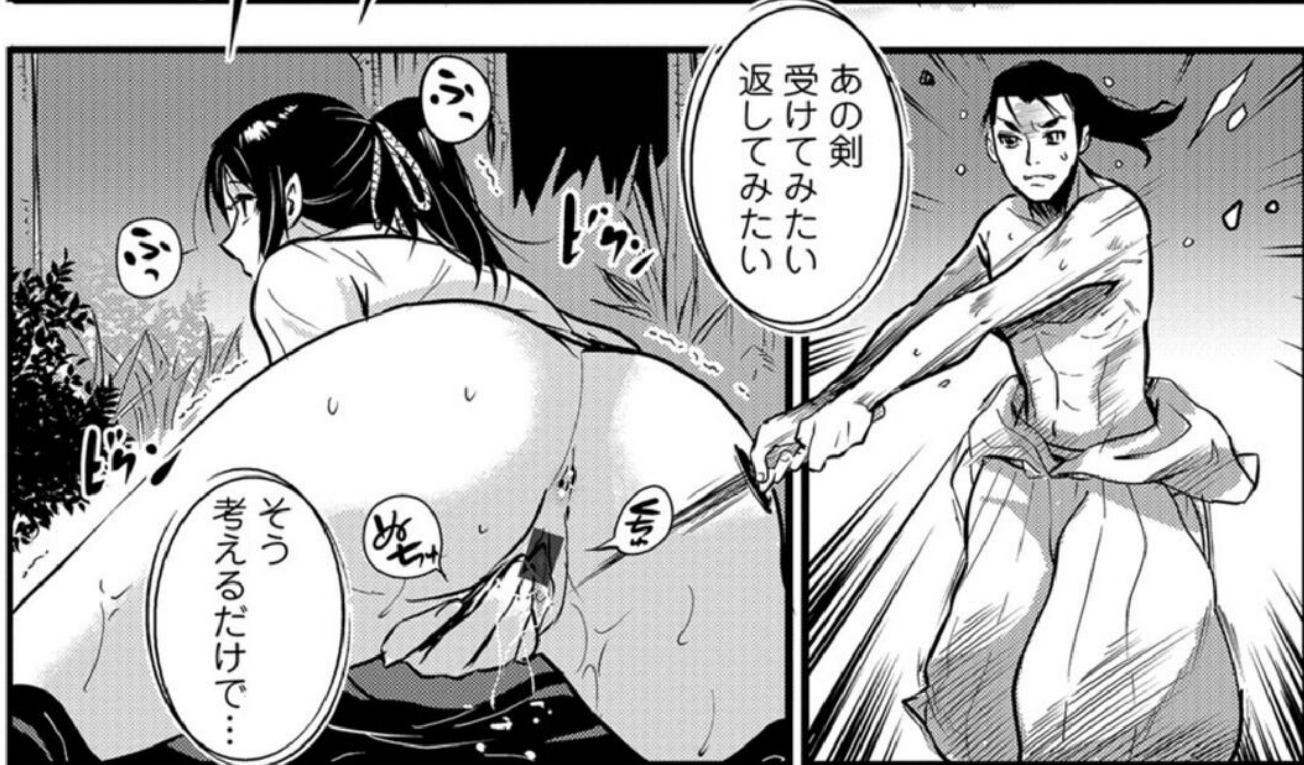
あ…

ざ

わ

すまなかった

いや…
わかった











つづく...